I·O DATA

DTCP-IP Disc Recorder

ユーザーガイド



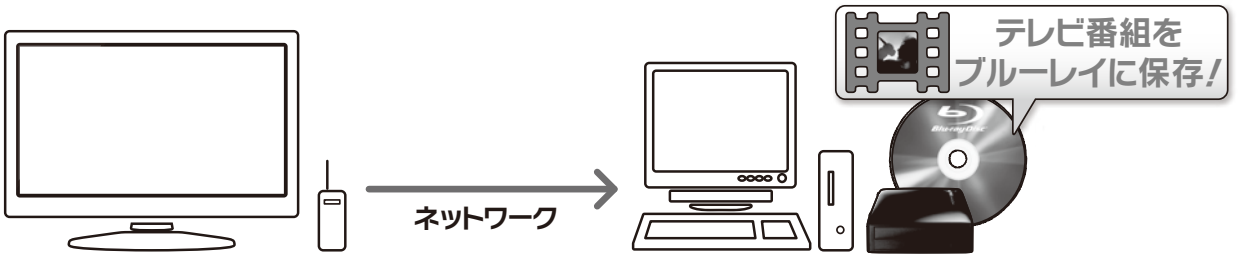
この度は、「DTCP-IP Disc Recorder」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に［本マニュアル］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

目　次

- はじめに …… 2
- インストールする …… 4
- ダビングする …… 5
- 再生する …… 7
- 困ったときには …… 7

本製品でできること

テレビの内蔵・外付ハードディスクや弊社 RECBOX に録画した映像をブルーレイ・DVD にダビングすることができます。
（ダビングした映像はブルーレイ・DVD プレーヤーで再生することができます。）



(C) I-O DATA DEVICE, INC.

はじめに

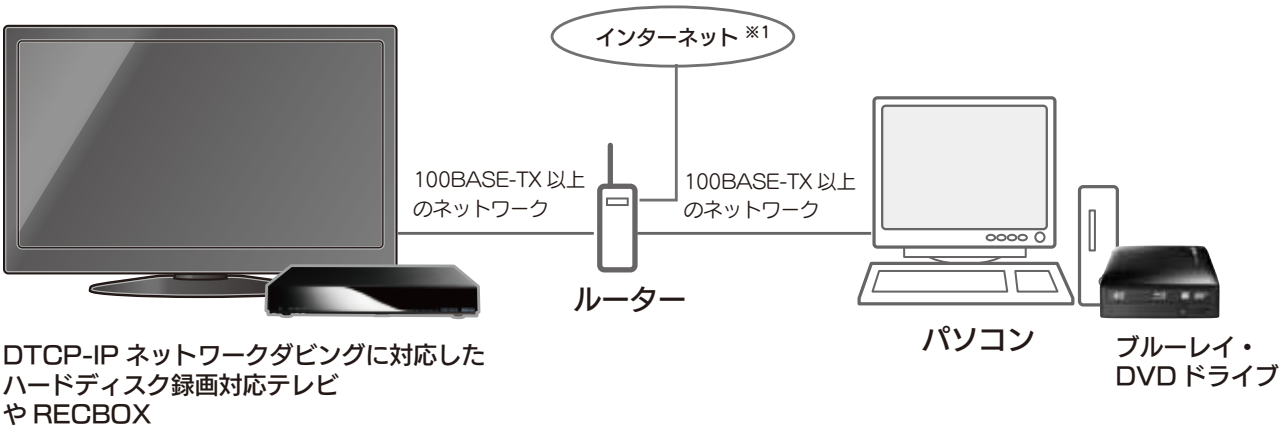
1 動作環境を確認します

対応機種※1	DOS/Vマシン	
対応OS	Windows 7(64/32bit) / Vista (32bit) Service Pack 2以降 / XP Service Pack 3以降	
搭載CPU	Pentium 4 2GHz以上	
ハードディスク	空き容量 100MB以上（DVD書き込み時は18GB以上）	
ネットワーク	100BASE-TX以上のネットワーク(有線ネットワークに限ります。)	
インターネット	本製品をご利用の際には 、インターネット接続環境が必要です。	
対応機器	DTCP-IP ダビングに対応した東芝ハイビジョンテレビ〈レグザ〉 DTCP-IP ダビングに対応した日立ハイビジョンテレビ　Wooo 弊社RECBOXシリーズ(HVL-AV、HVL-AVR)、弊社LAN DISK AVシリーズ(HVL1-G、HVL4-G) 弊社デジタルハイビジョンチューナー・レコーダー「HVT-BCT300S」 ひかりTV対応ダブルチューナー（ハードディスク内蔵）モデル「IS1050」 ※2011年6月29日提供開始の最新ファームウェアにて対応	
対応コンテンツ形式	スカパー！HD※2、ひかりTV※3、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送	
書き込み対応メディア	ブルーレイ	1層BD-R、2層BD-R、1層BD-RE、2層BD-RE
	DVD※4	1層DVD-R、2層DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。　http://www.iodata.jp/pio/
※2 標準画質のコンテンツのダビングには対応しておりません。
※3 BDにはIP多チャンネル放送のHDコンテンツ、地上・BSデジタル放送のコンテンツをダビングすることができます。また、DVDにはIP多チャンネル放送のSDコンテンツをダビングすることができます。
※4 CPRMに対応している必要があります。

2 ネットワーク構成を確認します

テレビなどに録画した番組を本製品にダビングするには、以下のようなネットワーク環境が必要です。



※1 DTCP-IP、AACS の認証に必要です。

3 用途に応じてメディアを選ぼう

以下のメディアの特徴を参考にし、ご利用になるメディアを選んでください。

BD-R （1 層 /2 層）	1 回のみ書込みができるブルーレイメディアです。保存した番組を消去したくない場合におすすめです。
BD-RE （1 層 /2 層）	繰り返し書込みができるブルーレイメディアです。 一度保存した番組を消去してメディアを繰り返し使いたい場合におすすめです。
DVD-R※ （1 層 /2 層）	1 回のみ書込みができる DVD メディアです。保存した番組を消去したくない場合におすすめです。
DVD-RW/ DVD-RAM※	一度保存した番組を消去してメディアを繰り返し使いたい場合におすすめです。 （再生する機器が対応しているメディアをお選びください。）

※CPRM メディアが必要です。

＜参考：画質と収録時間のめやす＞

	画質	収録時間
1 層 BD-R 1 層 BD-RE	ハイビジョン	地上デジタル：約 2.5 時間 BS･CS･ ：約 2 時間
2 層 BD-R 2 層 BD-RE	ハイビジョン	地上デジタル：約 5 時間 BS･CS･ ：約 4 時間
1 層 DVD-R DVD-RW DVD-RAM	標準	約５０分
2 層 DVD-R	標準	約９０分

※上記時間はめやすであり、実際には若干異なる場合があります。

使用上のご注意

- ●本製品で書込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- ●BD-R、BD-RE、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したBD･DVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- ●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- ●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- ●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みをおこなってください。
- ●動作中にダビング元の機器や本製品が接続されているパソコン、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、コンテンツを消失するおそれがあります。

AACSキーについて

ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画･編集･再生するために著作権保護技術『AACS』を採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくために、定期的に『AACSキー』を更新してください。
『AACSキー』は再生ソフトウェアからのメッセージにしたがい更新します。（インターネット接続環境が必要です。）
更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの再生ができなくなる可能性があります。（著作権保護されていないコンテンツの再生は可能です。）
今後、AACSキーの提供についての情報は、当社サポートページにてお知らせいたします。

http://www.iodata.jp/support/

著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。
もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

インストールする

ダビングするためのソフトウェアをインストールします。

❶



ダウンロードしたファイルを
ダブルクリックします。

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい]（続行）をクリックします。

❷ 解凍されたフォルダの中にある「SetupLauncher (.exe)」をダブルクリックします。

❸



DTCP-IP Disc Recorder
をクリックします。

以降は、画面にしたがってすすめてください。

❹ シリアル番号を入力するときは、ご購入時にご案内したシリアル番号 (S/N)」を入力します。

❺



①メディアサーバー名
を入力

②[次へ] をクリック

❻



[はい] をクリック

❼



完了をクリック

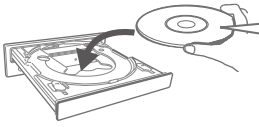
❽ 再起動後、タスクトレイに以下のアイコンが追加されます。
以上で、インストールは終了です。



ダビングする

ここでは、東芝ハイビジョン液晶テレビ〈レグザ〉で録画した番組をブルーレイへダビングする手順を説明しています。
記載しているテレビの画面、操作は〈レグザ〉Z1 シリーズの例です。　お使いの機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
※操作方法に関するお問い合わせは弊社で承っております。株式会社東芝様へのお問い合わせはご遠慮ください。

❶



書き込むメディアをパソコンに入れます。

❷ [スタート]→[すべてのプログラム]→[DTCP-IP Disc Recoder]→[DTCP-IP Disc Recoder Tool] をクリックします。



❸ 書き込み可能な場合は以下の画面が表示されます。



書き込み不可能と表示された場合

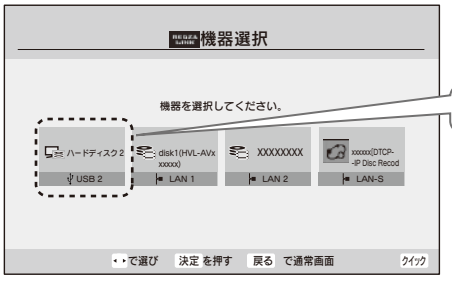
[詳細設定] ボタン→[ドライブ選択] タブ→本製品をクリック（選択）してください。



これよりテレビでの操作となります。

❹ リモコンの レグザリンク を押し、
[録画番組を見る]を選び、決定 を押します。

❺



※機器が１つしかない場合は、上記は表示されません。

機器を選択する
※USB HDDに録画した場合
決定 を押す

❻



※10回目の転送時の場合、またはダビング10非対応の場合、画面の表記が「ムーブ」になります。

番組を選択する
リモコンの 黄 を押す

❼



[複数ダビング]の場合、録画リストが表示されます。
ダビングする番組に 決定 で ✔ をつけます。
番組を選択後、 黄 を押します。

選択する
決定 を押す

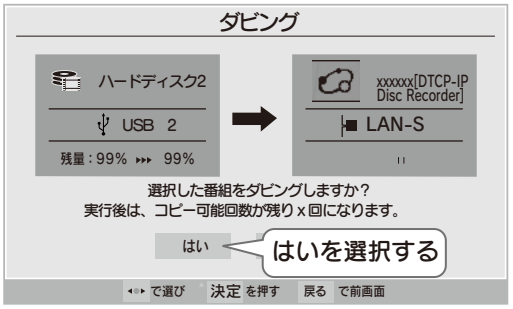
❽



選択する
決定 を押す

ダビングする（つづき）

9



決定 を押す

10 ダビングが開始します。
画面下に進行状況が表示されます。



ご注意 **ダビングの終了はパソコンの画面で確認してください。**

DVD ディスクへのダビングの場合、テレビで進行状況のが画面が消えてからパソコン側でディスクへの書き込み処理が始まります。パソコンで書き込み完了の表示が出るまで、パソコンやドライブの電源を切らないでください。
ダビングする映像が消失するおそれがあります。

パソコン側（DTCP-IP Disc Recoder Tool 側）の画面





タスクトレイのアイコンにも完了のメッセージが表示されます。



以上でダビングは完了しました。



再生する

ブルーレイレコーダー / プレーヤーで見る場合

ダビングして作成したメディアをブルーレイレコーダーなどに入れて、再生することができます。

パソコンで見る場合

パソコンにブルーレイ・DVD ソフトがインストールされている場合、ダビングしたメディアを挿入すると再生が開始されます。

困ったときには

❶ ヘルプを確認する。

ヘルプの起動方法

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[DTCP-IP Disc Recorder]→[DTCP-IP Disc Recorder ヘルプ]の順にクリックします。

❷ ホームページでサポート情報を見る。

●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

❸ サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
TEL：050-3116-3020
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
FAX：076-260-3360
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
6) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
7) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Windows 7、Vista、XP は、それぞれ Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP　operating system の略称として表記しています。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.iodata.jp/support/